



平成 26 年 1 月 14 日

各 位

会社名 株式会社ユーシン
代表者名 代表取締役会長兼社長 田邊 耕二
(コード番号:6985 東証第一部)
問合せ先 経理財務本部長 田尾 和也
TEL:03(5401)4660

特別損失等の計上及び業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

平成 25 年 7 月 12 日に公表しました平成 25 年 11 月期(平成 24 年 12 月 1 日～平成 25 年 11 月 30 日)の業績予想値と決算値との差異に関しまして、営業外費用、特別損失の計上を含め、下記の通りお知らせします。

記

1. 連結業績予想値と決算値との差異

(平成 24 年 12 月 1 日～平成 25 年 11 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	110,000	4,000	4,700	4,200	円 銭 138 45
実績値(B)	108,473	1,791	1,536	400	13 29
増減額(B)-(A)	△1,526	△2,208	△3,163	△3,799	—
増減率(%)	△1.4	△55.2	△67.3	△90.5	—
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 11 月期)	61,160	2,618	2,208	△1,537	△50 08

2. 差異の理由

売上高は、日本国内及びタイや中国といったアジア地域において生産・販売が好調であった一方、欧州・南米において景気低迷の影響を受けたことにより、グループ全体ではわずかに予想を下回りました。

営業利益に関しては、アクセスメカニズム事業の買収により取得した欧州拠点において、欧州系完成車メーカーの業績回復の遅れの影響を受けたことに加えて、買収前からValeo社が進めていた一部製品の生産移管作業が遅れたことにより生産効率が一時的に低下しており、生産ロスや販直費が増加しました。

また南米拠点では、米国景気の回復と米金融政策の転換を見越した新興国からの資金引き上げに伴う通貨安と景気悪化の影響を受け、収益が低下しました。

さらに、中米においてValeo社より取得したメキシコ拠点をユーシンのメキシコ新工場に統合するための費用の発生等もあり、営業利益は予想を下回りました。

経常利益については、今後発生が確実な事業統合に関する費用(商標・ロゴ変更費用等)を追加で引当て、また、外貨建貸付の回収額確定のため契約した通貨スワップの時価評価損(8億53百万円)を計上したこともあり、予想を下回りました。

当期純利益につきましては、上記要因による利益額の減少に加えて、現在計画中の生産拠点の整理・統合の一環として、フランス・ディジョン市の工場閉鎖に伴い発生が見込まれるリストラ関連費用(13億43百万円)を先行して引当て、特別損失に計上したこともあり、予想を下回っております。

以 上